

新たな委員会活動の取り組み ~編集委員会~

編集委員会担当理事 森 恵美（千葉大学大学院看護学研究院）



編集委員会は本学会の目的「母性看護学の進歩発展を図り、……」の根幹をなす重要な事業であります、本学会誌の編集・制作・発刊を行っております。学会誌は年2回発刊されて10数件の論文が毎年採択されておりますが、1刊10論文程度、1年間で20論文程度の掲載が可能な状況でございます。会員が800名程度であり随時査読であることを考えますと、若手研究者や実践者の育成、並びに母性看護学の学術的基盤を発展させるために、会員の皆様が本学会誌へ論文を投稿することをさらに促進していきたいと考えます。

編集方針としては、会員・投稿者ファーストの編集を心がけ、よりよい論文が多く本学会誌に掲載されるよう、編集委員会一同で支援していきたいと考えております。今回、新理事長のもと、編集委員会委員を増員していただき、編

集・制作についてもお陰様で事務的支援を委託することになりました。さらに、投稿論文数の増加に向けて、査読委員の増員が必要な状況でありますので、募集方法を検討中でございます。その際にはご協力のほどよろしく願いいたします。これまで、論文投稿する方にとっては、掲載されている論文だけが執筆の参考であり、論文を書きなれていない会員にとってはハードルが高かったと思います。一方で、査読者の先生にとっては、かなりの時間をかけ、色々と詳細なところまで指摘せざるを得ない状況となっていたと考えます。そこで、執筆要領を作成するなど会員が投稿しやすいような環境づくりと、査読者の先生方のご負担を軽減するためにも査読マニュアルの充実などの取り組みをいたしますので、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。